

〔様式1〕 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年3月26日	記入者	小関 正義	連絡先	5184	
平成18年度部名	学校教育部	課名	学校教育課	課長名	小塚 牧夫	
平成19年度部名	学校教育部	課名	学校教育課	課長名	佐藤 陽一	
事務事業名	学校情報教育推進事業					
予算上の事務事業名	学校情報教育推進事業					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	14121		
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第4章 人間性豊かな子どもを育成します					
基本施策名	第1節 ゆとりある学校教育の創造					
施策名	第2施策 小・中学校教育の充実					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等						
3 個別計画の概要						
計画名	概要					
計画年次	年度～	年度				
4 事業形態の区分	調査・研究		5 事業開始年度	平成17年度		
6 事業概要						
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象 (誰、何)		
教育機器の活用による学習の個別化、多様化を図るための設備や教材の整備を進める。 平成18年度より業務の大半を総合学習センターに移管した。				麻溝台中学校を除く各中学校		
(3) 平成18年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。						
旧相模原市域の各中学校(麻溝台中学校はCALLシステムに移管し、総合学習センターにおいて管理)に設置されているLL教室、学校教育課に設置されているPC、及び旧津久井町域の中学校に設置された校務用のPCの保守を行った。						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
8 事業費の推移 〔単位：千円〕						
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	0	567,204	7,737	7,816	7,006	
一般財源	0	567,204	7,737	7,816	7,006	
受益者負担金						
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	0	8,050	1,610	1,610	1,610	
事業コスト合計	0	575,254	9,347	9,426	8,616	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	学校情報教育推進事業			対象名称 と単位	対象各校	
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	0	575,254	2,290	2,715	2,715	
対 象 数	0	82	26	32	26	
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	7,015,293	88,077	84,844	104,423	
前 年 度 比		#DIV/0!	0.01	0.96	1.23	

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	施策対象校数の割合	指標式と指標の説明		施策対象校数÷中学校数	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	N/A	1.0	0.9		
目標	N/A	1.0	1.0	1.0	0.7
目標達成度(%)	#VALUE!	100.0	90.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	施策対象校数の割合	指標式と指標の説明		施策対象校数÷中学校数	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	1.0	0.9		
目標	0.0	1.0	1.0	1.0	0.7
目標達成度(%)	#DIV/0!	100.0	90.0		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果享受している。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★	[★★★★] : 良好な状態を維持する事業				
	[★★★★] : 概ね良好な状況である事業				
	[★★★] : 見直しを行う必要がある事業				
	[★] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		情報教育の推進について、業務の大半は総合学習センターに移管されたものの、LL教室の修繕、学校教育課における業務用PCなど、必要性の高い事業内容となっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
総合学習センターが配備を進めている職員用のPCの配備状況を見て、旧津久井町域、旧城山町域のPCの円滑な切り替えを行う。					
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			